



石田八重子さん(75)が作製したしめ飾り亀バージョンの写真(他にも鶴バージョンなどもありました。)

発見！！

みなさん、こんなしめ飾りを見かけた事はありますか？
 そう、「カメ」をモチーフにしてなんと縁起のよいお飾りだと思いませんか？数年前、ある友人からの「道の駅ソレ」ネでおもしろいお飾り

り見かけたよ」という連絡をきっかけに知りたくなりました。「まだ見たことない人もいますか！」という思いから今回は記事にしてみました。機会があれば、作り方の教室を開ければよいですね。

お話を伺いました！！

今回、製作者である、
 柚木河内にお住まいの石田八重子さん(75)にお話を伺いました。石田さんのお話を伺いすることができました。石田さんはお飾りを親戚の家で見つけ「自分でもできうだな」と思ったのがきっかけで、製作を始め、道の駅に出荷したこともあるそうです。現在は出荷しておらず、たくさんは作ってないとのことでした。製作は、やわらかさの違う「もち米の藁」と「通常のお米の藁」を使い分けながらおこない、およそ一時間で仕上げる事ができるそうです。尻尾の部分には穂を使用しているため、ネズミに食べられないように気を付けていると笑っておられました。

ゆの新聞

第2号

2017年(平成29年)10月1日(日) 曜日
 年4回発行

【発行】
 湯野地区コミュニティ協議会
 〒745-1132
 周南市大字湯野 4230-1
 TEL.0834-83-2002
 FAX.0834-83-3950

【協力】
 湯野公民館
 〒745-1132
 周南市大字湯野 4230-1
 TEL.0834-83-2002
 FAX.0834-83-3950
 【配布協力】
 湯野地区自治会連合会
 〒745-1132
 周南市大字湯野 4230-1
 TEL.0834-83-2002
 FAX.0834-83-3950

「奇跡の中学校」

東日本大震災 もう呼ばないで…

2011年3月11日、東日本大震災が発生し、岩手県釜石市の釜石東中学校と鶴住居小学校の両校は、在校していた約六百名全員が無事に避難しました。当時、両校ともに校長は不在、停電により校内放送も使用できない状態でしたが、教師陣の率先垂範により、第一避難所への避難、点呼による全員の安否確認をおこなうこ

とができました。その時、想定以上の津波襲来を予感した中学生たちは小学生の手を引いて裏山の急斜面を登り、第二避難所まで避難しました。ふり返ると、住んでいた家や通っていた学校が津波にのみ込まれていく光景を目の当たりにしました。見ると第一避難所も3階までのみ込まれてしまっていました。この出来事を

報道各社は「奇跡の中学校」と報じました。しかし、当の中学生たちは「奇跡ではない！」と主張しています。「私たちは小学校の時から、学芸会で災害時の対応を題材とした舞台を演じたり、避難訓練もたびたび実施してきました。その経験があったからこそ、私たちは全員が無事に避難することができたのだと思います。未だに疎開先の学校では『奇

跡の中学校の生徒だ！』と言われます。そのたびに、あの日の悲惨な光景が目には浮かび、悲しい気持ちになります。私たちはいつも『奇跡の中学校の生徒と呼ばないで！』と伝えることにしています。同級生も、あの日からみんな離れ離れの生活を送っています。地震や津波のみならず、昨今の集中豪雨など、想定外の自然災害がいつ起こっても不思議ではない状況です。もちろん、湯野地区においても例外ではありません。自然災害に備えた食糧の準備や、災害発生時の行動や避難場所について

て家族で確認し、離れた場所で被災しても、そこで集結してお互いの安否確認ができるようにしておきたいものですね。

はじめます！
 ♡「夢プラン」♡
 近日中に、説明会のご案内チラシを配布します！

※数字で見る湯野※ (平成29年8月末現在)

総人口	: 1,385人	(-6)
男性	: 647人	(±0)
女性	: 738人	(-6)
65歳以上	: 622人	(+3)
高齢化率	: 44.91%	(+0.41)
世帯数	: 684世帯	(+6)

[カッコ内は前年比]



【イラスト:江波久美子】

コミュニティ

■青少年育成活動の推進

●未成年に重点をおいた地域人材育成（ボランティアカード活用・スタッフジャンパー&帽子貸与）

- ①4月25日（火） 総会にて中学生・高校生の地域行事への参加促進を目的としたスタッフジャンパーと帽子を製作することが決まり、そのデザインについてデザイナーへの依頼をおこないました。
- ②8月29日（火） デザイナーの方より提案された2種類よりデザインを決定し、発注いたしました。

■集客・広報活動の充実

●マスコミ、チラシ、SNS、インターネット等を活用した情報発信

- ①5月25日（木） 湯野地区コミュニティ協議会広報誌の編集委員会（村山、尾中、江波、加藤）を発足し協議を開始しました。
- ②6月8日（火） CCSの番組「ココカラ、まちづくり」の取材に応じ、6月16日～30日の間、テレビで放映されました。（※湯野支所にてDVDを視聴できます。）
- ③7月1日（土） 広報誌「ゆの新聞」の創刊号を発刊しました。

【湯野地区コミュニティ協議会事務局 ☎83-2002 湯野公民館内】

そろそろ、スマホにしてみようかな...

スマホにしたけど、使い方がよくわからない...

スマホをもっと使いこなしたいなあ...



スマホ講習会（^^）

参加者募集

■日時 平成29年11月14日（火）

（午前の部 10:00~12:00）

（午後の部 14:00~16:00）

■場所 湯野公民館 2階会議室

■定員 各5名程度 ■受講料 無料

■講師 井村良子さん（下町）

■申込方法

湯野公民館（☎83-2002）までお電話で

氏名、住所、連絡先をお伝えください。

■申込期限 平成29年11月10日（金）

主催：湯野地区コミュニティ協議会

元気村サポーター募集

元気村サポーターとは、地域の皆さまと共により良い施設を目指し、元気村を支えていただく有償ボランティアです。

直接介護を行うことは一切ありませんのでご安心ください。

皆さまがお持ちの趣味を活かした活動（創作・おやつ作り・陶芸・将棋・教師）から話し相手やお掃除などをご協力いただくと幸いです。

まずはお気軽にご相談ください。

問い合わせ：82-0777

（担当：吉田・水木・野村）

☎office@genkimura-sa.jp まで



湯野地区コミュニティ協議会 からのお知らせ

平成29年度上半期 活動報告

■地域力の再生

●「地域の夢プラン」の策定（気運醸成・集落点検・地域の将来像考察）

- ①5月18日（木） 周南市地域づくり推進課を訪問し、「地域の夢プラン」の申請方法、および進め方についての協議をおこないました。（対応職員：花野係長）
- ②8月29日（火） 湯野地区コミュニティ協議会幹事会に周南市地域づくり推進課職員（花野係長、山本副主任）を招いて、湯野地区における「地域の夢プラン」の進め方について具体的なアドバイスをいただきました。
- ③下半期に向けて 10月～12月に周知、呼びかけをおこない、翌年1月～3月で「勉強会の開催（2回程度を予定）」および「準備委員会の設立」をおこなうこととし、平成30年度より「夢プラン」策定にとりかかる予定です。

■組織力の再生

●幹事会の設置（定期的な協議の場を確保するため）

- ①4月25日（火） 総会にて規約を改正し、「幹事会（会長、副会長、事務局、顧問で構成）」を設置しました。顧問は西田宏三さんと蓮尾雷記さんに就任していただきました。
- ②7月19日（水） 第1回幹事会を開催しました。平成29年度の活動進捗状況の確認及び推進体制についての協議をおこないました。
- ③8月29日（火） 第2回幹事会を開催しました。平成29年度の活動進捗状況の確認及び推進体制についての協議をおこないました。また、顧問の西田宏三さんからの申し出により西田宏次郎さんへの顧問交代が承認されました。

●地域内法人（病院・福祉施設等）との連携（役員として招待、勤務者による活動協力）

- ①4月25日（火） 総会にて規約を改正し、「湯野に勤務する者」についても構成員と規定しました。
- ②5月17日（水） 湯野地区社会福祉協議会の玉木会長と一緒に社会福祉法人仁泉会（やすらぎ苑）、医療法人治徳会（湯野温泉病院など）、医療法人社団生和会（周南リハビリテーション病院、元気村など）を訪問し、代表者との協議をおこないました。相互の協力体制づくり、役員選出について快諾を得ることができ、後日各会の代表として佐々木美津枝さん（仁泉会）、鶴井約衛さん（治徳会）、魚谷悟さん（生和会）の3名が役員として就任されました。